

## グループディスカッション 討論結果まとめ

グループ 番号	4 - 1	テーマ	学生の保護者や進路指導担当者向けの介護の理解促進に当たり有効と考えられる方策
------------	-------	-----	--

### 事業の効果を高めるためのアイデア

ネットワーク会議に区市町村に入ってもらおう。  
区市町村に係ってもらおうことが重要。  
学生の行動分析、どこから情報を得ているのか。  
教育委員会を通じて小中高との連携をしていく。  
学校の先生との意見交換（困っていることなど）。  
介護事業者自ら本気になってもらうための働きかけ、理解促進。  
FMラジオ番組で連絡放送、マンガを使った啓発冊子。  
DVD作成、新聞広告。

### 「協議の場」の活用方法

生協、ボランティアセンター、シルバー人材センター等に参画をしてもらう。  
作業部会に細分化して協議（人数が多いと情報交換のみとなってしまう）。  
学生の参加が少ない傾向。アプローチ方法の再検討。  
WEB広告やサッカーJ1, J2等の活用。

## グループディスカッション 討論結果まとめ

グループ 番号	4 - 2	テーマ	学生の保護者や進路指導担当者向けの介護の理解促進に当たり有効と考えられる方策
------------	-------	-----	--

### 事業の効果を高めるためのアイデア

見える化 介護のことを（良いところ、悪いところも含め）きちんと示すツール（DVDなど）が必要。まずは知ってもらって理解してもらおう（特に教員）

人材センターに提出される求人票の見せ方も重要  
PRのしかたについて工夫が必要。他の業界ではだいぶ進んでいる。

高校の進路部会と福祉部会に相談することで、  
高校生への福祉セミナーの参加者が大きく増えた。

県の教育委員会にも協力してもらおう。（連名での文書）

### 「協議の場」の活用方法

学校関係の内情を知らないというのがネック。協議の場に入って連携をとる。  
特に高校には福祉部会というがあるので。

行政が縦割りでそれぞれやっているので情報共有をしていく。

懇談会で終わらないように会としての意見を最終的には作る。  
出されたアイデアに投票するなどしてまとめる。  
実務レベルの者にも入ってもらうことで活発になることも。

## グループディスカッション 討論結果まとめ

グループ 番号	4 - 3	テーマ	学生の保護者や進路指導担当者向けの介護の理解促進に当たり有効と考えられる方策
------------	-------	-----	--

### 事業の効果を高めるためのアイデア

#### 1 保護者へ直接アピールする手法があまりない

- ( 1 ) 保護者等に対する福祉職場のアピールポイントについて、積極的なイメージ戦略を国の主導で実施する。  
(メディア露出、CM、映画、テレビ番組制作、全国共通パンフレット等)
- ( 2 ) お子さんの年齢層(ターゲット)層に応じて、アピールポイントを明確にして保護者へのアピール方法、アプローチを工夫する
- ( 3 ) 父親向け、母親向け、教員向けでアプローチを変える
- ( 4 ) 体験ツアーへの参加
- ( 5 ) 地域のイベント等に積極的に参加、イメージアップ

### 「協議の場」の活用方法

- ( 1 ) 教育機関(教委等)の参画を促す。
- ( 2 ) 保護者・PTAにも参画してもらう。

## グループディスカッション 討論結果まとめ

グループ 番号	4 - 4	テーマ	学生の保護者や進路指導担当者向けの介護の理解促進に当たり有効と考えられる方策
------------	-------	-----	--

### 事業の効果を高めるためのアイデア

教委（上から）のアプローチだけでなく、地域の施設から学校に対して直接アピールをする（受入れ体制がある旨） ローカルからアプローチ

施設見学は単に見るだけでなく、お楽しみ要素を入れる  
（サイバーダイニングの見学、介護食体験、福祉工作 etc）

子どもに対して介護の出前授業 家に帰ってから親にも伝わるようにグッズを渡す。  
（例：洗剤を配って「今日、学校でこんな話をしました。よかったらお子さんに聞いてみてください。」

（潜在的有資格者）

### 「協議の場」の活用方法

協議会には労働関係、教育関係を入れるのがよいが、  
参加メンバーは実務の状況が分かる人がよい（団体の長レベルではなく）

協議会で話した内容をすぐに実行できるように、  
県の当初予算で補助金を確保しておく。（県でもっておく）

いい案が出れば、すぐに実施